

改革推進本部名	各部入賞区分
上下水道部	代表

※ 各部入賞区分は、各部代表提案は「代表」、努力提案は「○」、キラリ賞推薦提案は「キラリ」と書く。

平成30年度 改善実績提案報告書

提案名	下水道整備における新制度導入による国庫補助の増額		
所属 <small>(課名とチーム名・グループ名)</small>	下水道整備課 計画チーム	代表者	江島 晃 【入庁30年目】
ココが変わった！！ 改善内容			
こんな問題がありました【改善前の問題点】		⇨ こう変えました【改善による変更点】	
<p>• 下水道の管渠整備には、多額の費用が必要となり、その費用に占める国庫補助の割合は、下水道事業会計に大きな影響を与える。現状は、汚水が30m³/日以上流れる管渠が補助対象となっており、補助対象にならない管渠も存在している状況にある。今後、下水道事業会計の安定的な経営のためにも、いかに国庫補助を確保していくかが課題となる。</p>		<p>• 下水処理場における高度処理化が全国的な課題となっている中で、国により「既存施設を活用した段階的・高度処理の普及ガイドライン」が示された。</p> <p>• これに基づき、平成28年度より段階的・高度処理を取り入れた場合は、管渠の交付金対象範囲が拡大された。</p> <p>• 本市の下水処理場は、新制度への適応可能な施設であったため、事業に取り組むために全国を調査した結果、東京都、埼玉県で実施されている状況であった。</p> <p>• 平成29年度より日本下水道新技術機構との共同研究を行い、県とも協議を重ね、平成30年10月に段階的・高度処理を位置付けた事業計画変更の手続きを完了した。</p>	
アピールポイント【改善による効果】			
提案ジャンル(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 市民満足度の向上 <input type="checkbox"/> 連携・協働による成果 <input checked="" type="checkbox"/> 収入増・コスト削減 <input type="checkbox"/> 事務の正確化・効率化 <input type="checkbox"/> 市の魅力向上 <input type="checkbox"/> 安全性の向上 <input type="checkbox"/> 職場の雰囲気向上 <input type="checkbox"/> その他()	改善の視点(一つを選択)	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 集約化 <input type="checkbox"/> 共有化 <input type="checkbox"/> ICT化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (改善)
			<ul style="list-style-type: none"> • 事業計画変更を行った結果、平成31年度より補助対象管渠を30m³/日以上から25m³/日以上に拡大することが可能となった。 • 今後、下水道管渠整備の補助対象の拡大により、下水道事業会計の安定的な経営に繋がると考えられる。
【数字でみる効果】	<ul style="list-style-type: none"> • 平成30年度の国庫補助要望内容を、30m³/日の基準で再計算し、比較すると4千万円程度の増額が見込まれる。 • 今後も、年当り4千万円程度のコスト改善効果を見込むことができる。 		
所属長からの推薦コメント			
<ul style="list-style-type: none"> • 管渠整備事業の進捗と下水道事業会計の健全化に大きく寄与できる内容であり、積極的な情報収集と迅速な取り組みなど、評価できるものである。 			
【所属長氏名 住吉 敏幸】			